



# AGENDA

- 会社概要
- 事業紹介
- 2026年3月期 第3四半期 決算概要
- 2026年3月期 通期業績予想
- 株主還元
- 今後の方針

# 01

## 会社概要

## 創業98年のLPガス・石油製品の販売会社などを中心とするグループ企業

会社名	シナネンホールディングス(株) (東証プライム8132)
所在地	東京都品川区東品川一丁目39番20号
代表者	代表取締役社長 中込 太郎
資本金	156億3,000万円
創業	1927年4月11日 創業 <b>98</b> 年
従業員数	<b>3,572</b> 名(連結:臨時従業員含む)
グループ会社	連結子会社 <b>33</b> 社、関連会社 10社
事業内容	LPガス・石油・電気など様々なエネルギーの販売事業を中心に、 住まいと暮らしのサービスなどその他事業で構成される企業グループ

2025年12月31日現在

# 社是

3つの礎

## 信義

社会的責任の  
実践

信義は 我社経営の大本である  
人の信頼に応え 責任を重んじ  
業を正し 和衷協同して  
社運の発展を期する

## 進取

新たな価値の  
創造

進取は 我社営業の大成である  
常に停まらず工夫をこらし  
人の求めるものを知り 品位を高め  
商品の開発に努め 社会に奉仕して  
社益の増進に資する

## 楽業

こころ豊かな  
行動

楽業は 我社の人の体相である  
社にある喜びを以て 職を楽しみ  
広く内外に友を求めて  
社業繁栄のもととする

## 「煉炭」「豆炭」をルーツとするエネルギー界への挑戦



「煉炭」は明治中期、豆炭は大正中期に、  
それぞれ日本人によって発明された固形燃料です。  
当時、家庭燃料の主役だった  
薪と木炭に代わる固形燃料として、  
当社グループはいち早く目を付けました。  
時代をとらえる、革新と挑戦のDNAは、変わりません。

品川燃料



シナネン

# 時代の変化に合わせてエネルギー事業を軸に展開

1927年～

煉炭・豆炭など  
固形燃料の  
日本最大のメーカー  
として創業



1950年代～

石油・ガスを  
取り扱う日本屈指の  
総合燃料商社へ



2000年代～

システムや  
総合建物メンテナンス  
電力事業など  
多角化を推進



2015年～

脱炭素社会の  
実現に向けた  
新たな挑戦へ



## 中込 太郎 (なかごめ たろう)

1973年4月9日生まれ  
神奈川県 出身

### PROFILE 経歴

- 1997年 4月 当社 入社
- 2010年 4月 ミライフ株式会社 営業統括部長
- 2012年 2月 株式会社インデス 代表取締役社長
- 2018年 5月 株式会社インデス 代表取締役社長  
兼 株式会社ユテックス 代表取締役社長
- 2020年 6月 タカラビルメン株式会社 代表取締役社長  
兼 株式会社インデス 代表取締役社長  
兼 株式会社ユテックス 代表取締役社長
- 2021年 6月 タカラビルメン株式会社 代表取締役社長
- 2023年10月 シナネンアクシア株式会社 代表取締役社長
- 2024年 6月 当社 代表取締役社長(現在)



## 業績回復に向けた事業改革を推進



# 脱炭素社会の実現に貢献する 総合エネルギー・ライフクリエイト企業グループ

成長戦略

ii

リテールサービス  
戦略の強化

i

国内事業基盤の  
再整備

iii

新たな事業への  
取組み

経営基盤強化

人財育成と風土改革の推進

業務・資産効率性向上

基盤

エネルギー事業会社としての責務(安定供給、保安管理)

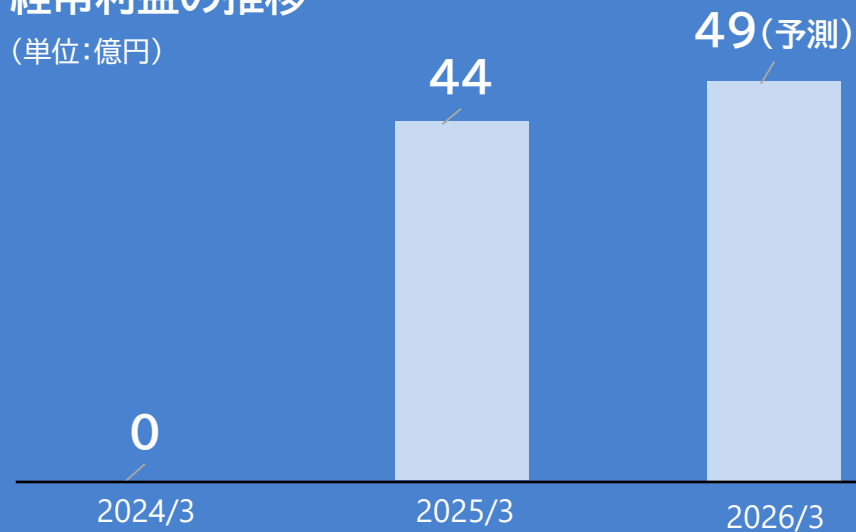
# 創業100周年に向けて更なる飛躍・躍進

## 第三次中期経営計画

2023年度～2027年度

### 経常利益の推移

(単位:億円)



ROE 5.8%

### 主な事業

- ・石油小売・卸売
- ・LPガス小売・卸売
- ・電力小売・卸売
- ・ハウスクエア
- ・総合建物メンテナンス
- ・シェアサイクル
- ・自転車小売・卸売
- ・その他

2028/3

### 財務目標

ROE

8%以上

経常利益

100億円

### 非財務目標

- 脱炭素社会に対応した事業構造への転換
- 社員の市場価値の向上

$$\text{ROE} = \frac{\overset{\textcircled{1}}{\text{Return}}}{\underset{\textcircled{2}}{\text{Equity}}}$$

## 1 収益の向上

- ◆ 売上伸長  
(4社統合効果、リテールサービス戦略強化など)
- ◆ ポートフォリオの良質化  
(事業の選択と集中、M&Aによる高収益事業拡大)
- ◆ 資産の効率的活用の促進  
(ROA改善施策の推進)
- ◆ 経営資源の最適配置とコスト削減

## 2 資本のアクティブコントロール

- ◆ 機動的な資本政策  
(配当引き上げ、自社株買いなど)
- ◆ 財務レバレッジ調整など

# 02

## 事業紹介

## 4月に統合し「シナネン(株)」になります

### ミライフ西日本 ミライフ ミライフ東日本

- エネルギーの事業: LPガス、都市ガス、石油、電気
- 住まいの事業: リフォーム、住宅設備、ガス機器販売
- 暮らしの事業: ハウスクリーニング、水のトラブル、レンタルサービス

#### LPガス/都市ガス



#### 家庭向け電力



### シナネン

- 石油事業: ガソリン、灯油、軽油、配送、保安受託
- 電力事業: 販売、需給管理
- 再生可能エネルギー事業: 太陽光発電等の電源開発、再エネ商材の販売・保守・運用

#### 石油



#### 法人向け電力



#### 総合建物メンテナンス



#### シナネンアクシア

- 居住用建物、ビル、病院、斎場、商業施設における総合建物メンテナンス、運営受託及び共用部管理

#### 自転車



#### シナネンサイクル

- 小売店「ダイシャリン」、企画・製造から卸売りも

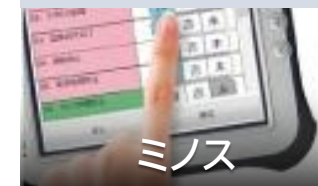
#### シェアサイクル



#### シナネンビリティPLUS

- 首都圏を中心にシェアサイクル事業を展開

#### システム



#### ミノス

- LPガス/電力小売事業者向け顧客管理システムを提供

#### 抗菌



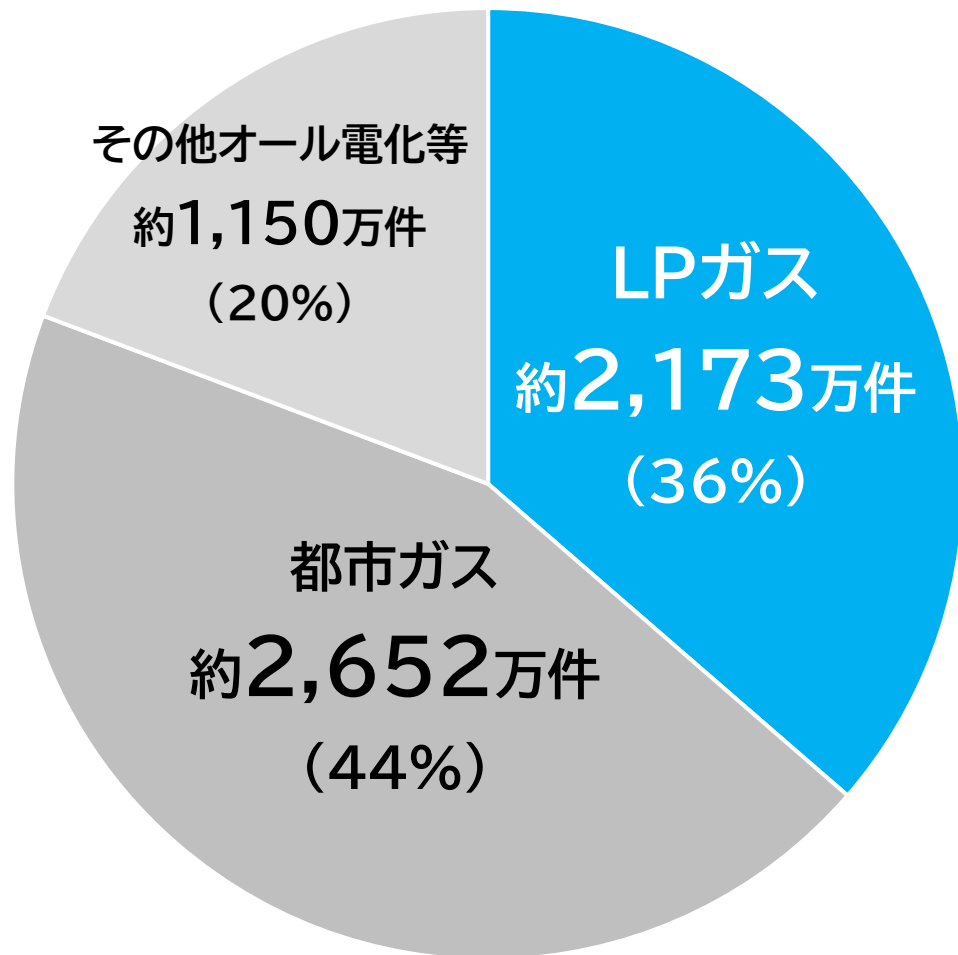
#### シナネンゼオミック

- 銀系無機抗菌剤の製造・販売

# エネルギー領域(LPガス)

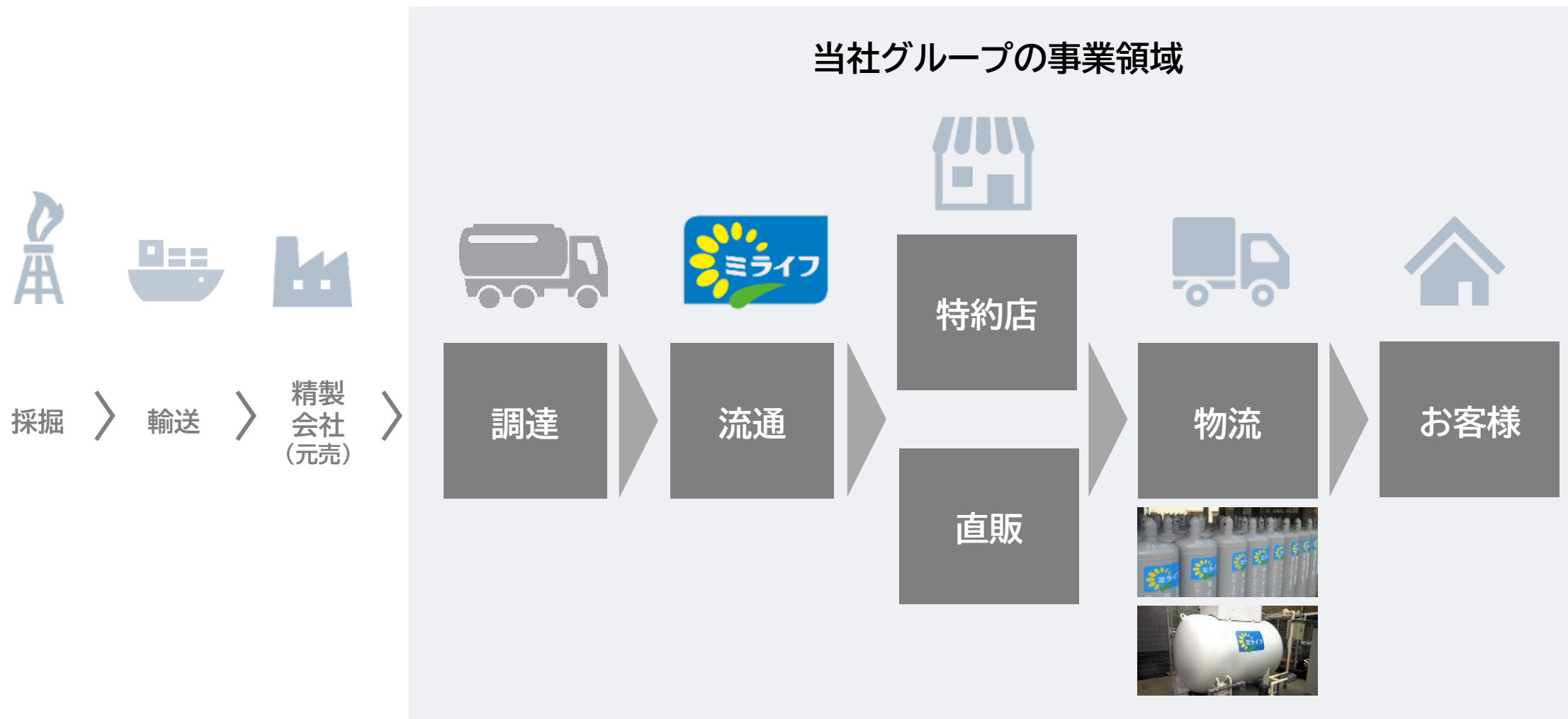
# 日本ではLPガスの需要家比率が3割強と根強い状況

LPガス、都市ガス等の需要家数の割合  
(2022年3月末時点)



経済産業省 2024年4月「総合資源エネルギー調査会 資源・燃料分科会 石油・天然ガス小委員会 液化石油ガス流通ワーキンググループ 中間とりまとめ」より

# 家庭用から業務用までLPガスを販売



## 安定的な取扱量を維持

LPガス取扱量

約50万t

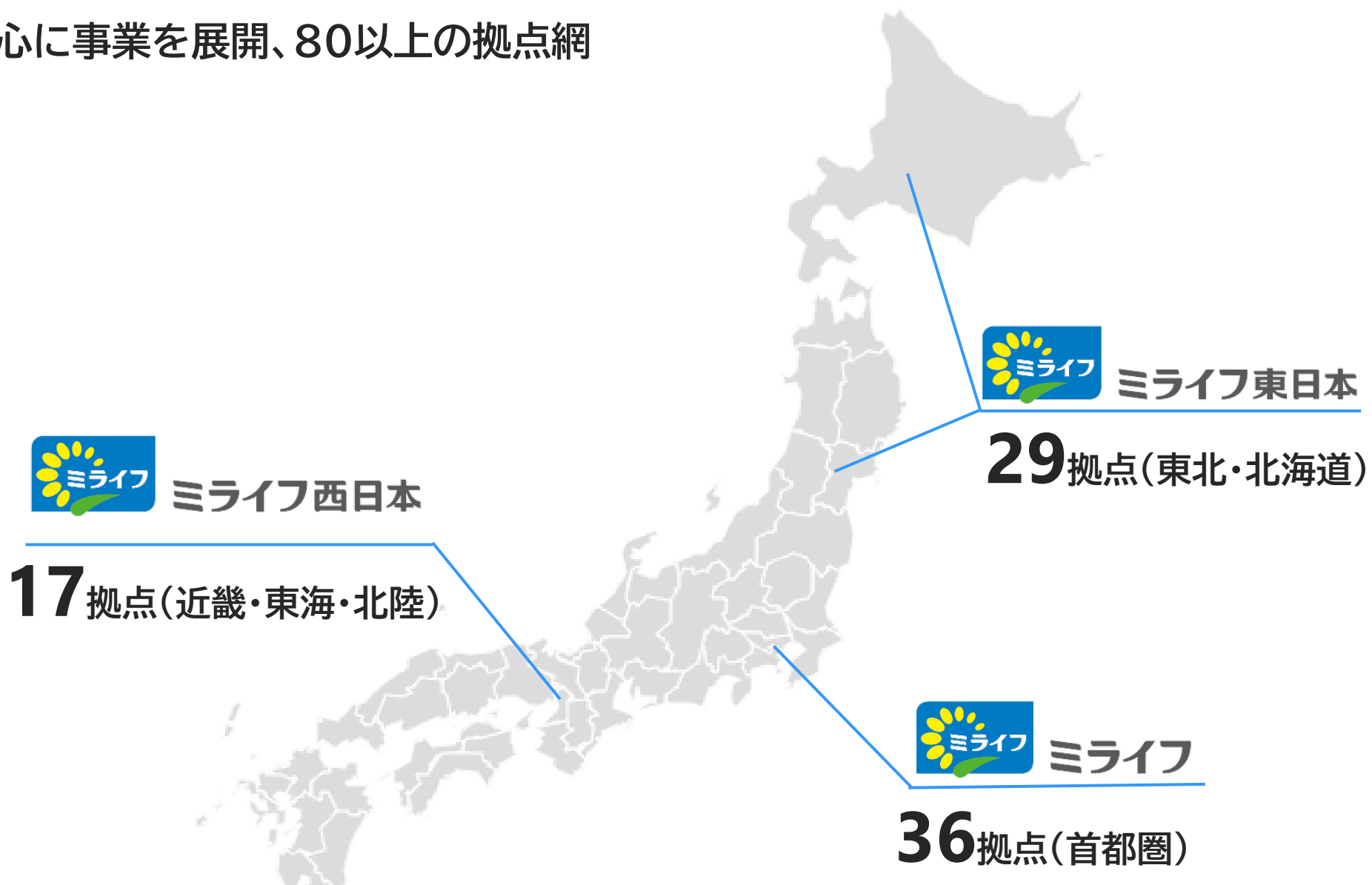
国内No.3※



※ 株式会社石油化学新聞社発行  
「2025年版 LPガス資料年報」より

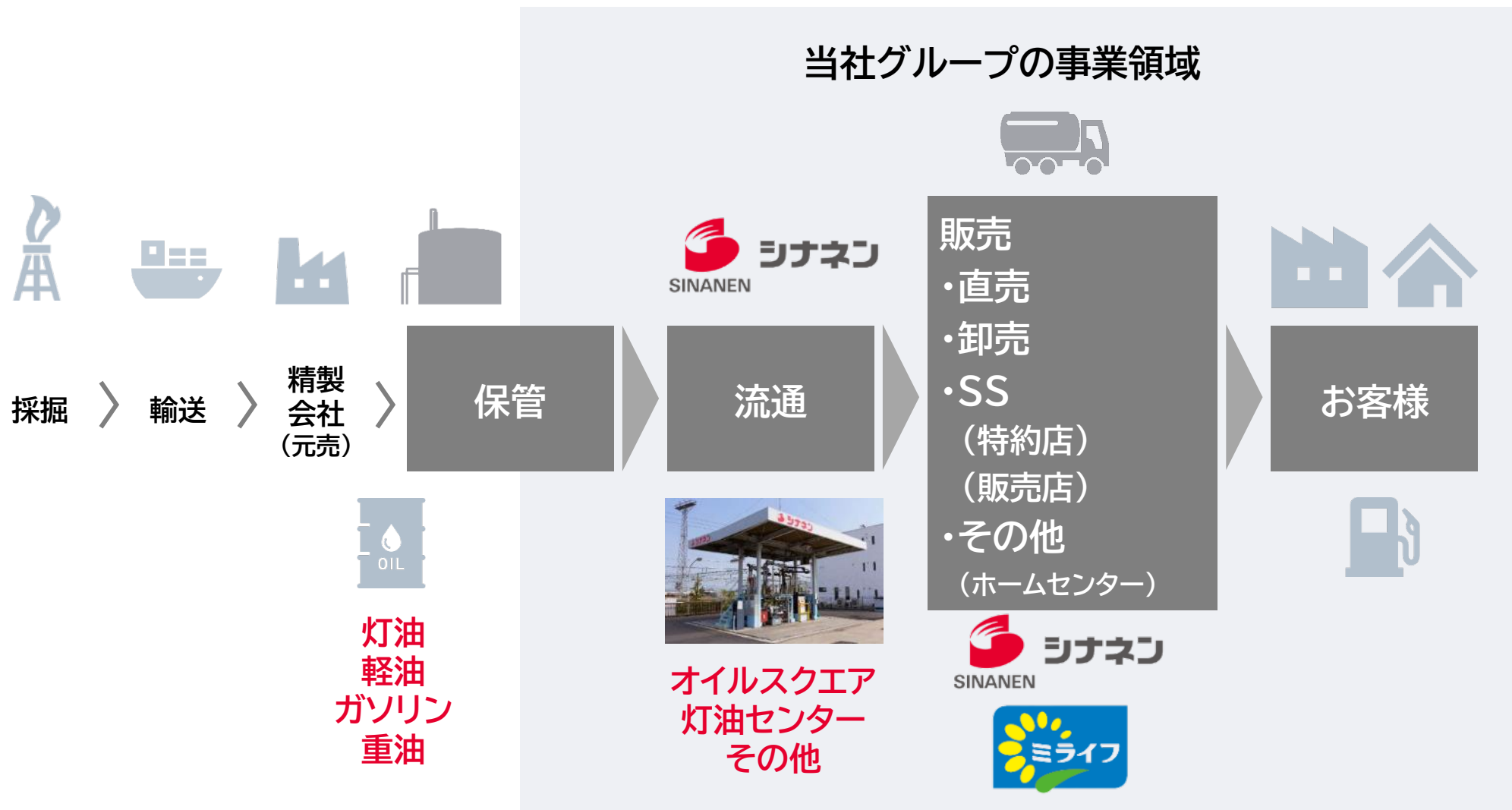


東日本を中心に事業を展開、80以上の拠点網



# エネルギー領域(石油)

# 法人需要家向けの販売に加え、SSやホームセンター等の小売販売を通じ石油製品を供給



# 灯油の流通拠点網に強み、75か所の石油中継基地「オイルスクエア・灯油センター」を配置



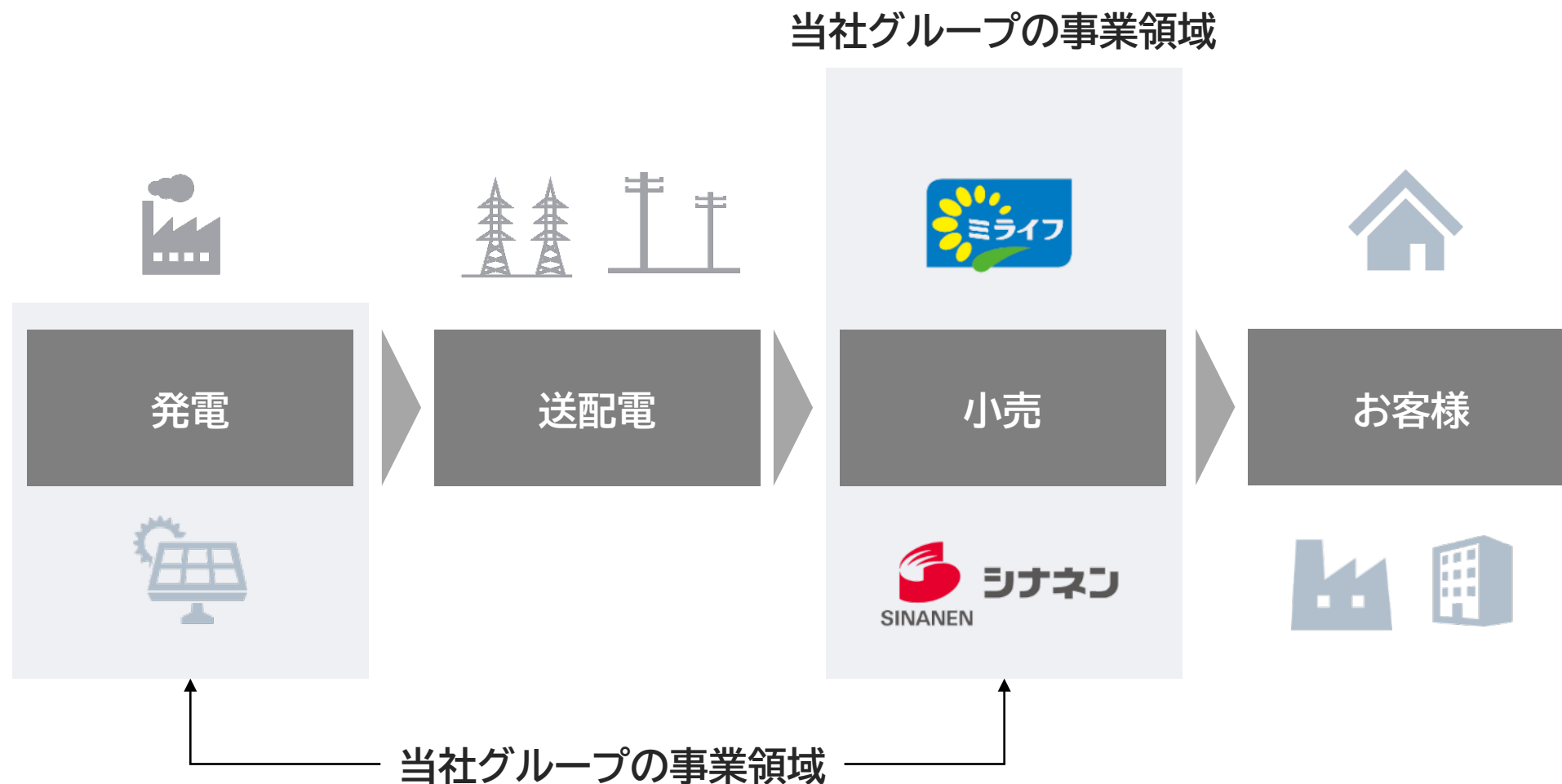
## 灯油の流通拠点網に強み。インフラ工事向けの軽油販売を強化中

灯油取扱量	約130万kl	国内流通量の約12%
軽油	災害復旧およびインフラ工事向けの供給を中心に、販売取組み強化中	
ガソリン	東北エリアに特化集中して、111か所のSSを展開(うち直営16か所)	
重油	国内工場向け販売とともに、国内・海外にて船舶用重油の販売を展開	

2025年3月末時点

# エネルギー領域(電力)

## 小売電気事業者としての事業および、太陽光発電事業も展開



## LPガスの顧客網も生かし、個人および法人への電力販売を拡大中

家庭向け電力(低圧)顧客	約 <b>50,000</b> 軒
法人向け電力(高圧)顧客	約 <b>1,800</b> 軒

2025年3月末時点

## 太陽光発電や発電設備メンテナンスなど幅広く展開

太陽光発電	発電能力 約 <b>31</b> MW (約1万世帯分)	
太陽光メンテナンス	メンテナンス工事の品質向上、ネットワーク強化を目的にメンテナンスパートナー会を発足	

# ミライフ北海道(株)



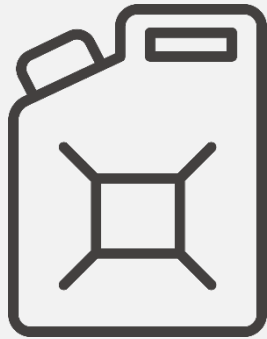
- |                      |           |                     |
|----------------------|-----------|---------------------|
| ① 本社                 | 〒063-0846 | 北海道札幌市西区八軒6条西11-1-1 |
| ② 札幌店                | 〒063-0846 | 北海道札幌市西区八軒6条西11-1-1 |
| ③ 道南店<br>道南ハウスケアショップ | 〒059-0035 | 北海道登別市若草町4-12-6     |
| ④ 白老店                | 〒059-0915 | 北海道白老郡白老町川沿1-549-8  |
| ⑤ 苫小牧店               | 〒053-0001 | 北海道苫小牧市一本松町7-8      |
| ⑥ 帯広店                | 〒080-2471 | 北海道帯広市西21条南2-43-8   |



◀ 道南店 / 道南ハウスケアショップ



事業内容: LPガス・石油・電力の販売  
エネルギーソリューションサービス  
住まいのサービス



## 灯油

灯油の宅配販売、店頭販売、タンク洗浄のほか、機器の販売や修理も行っています。



## LPガス

安心・安全をモットーに、LPガスをお届けしています。ガス機器の販売・設置や、清掃・修理も行っています。



## でんき

電気の切替え費用0円、途中解約でも違約金0円にて、電気の供給を行っています。



## 住まいのサービス

リフォーム、ハウスクリーニング、住まいの修理・トラブル対応、省エネ機器提案など、快適な住まいの提供に関するサービスを拡張中。

ミライフ北海道は、北海道地域に根ざしたエネルギーサービス企業として、暮らしと産業を支える多様なソリューションを提供しています。札幌をはじめとする地域のお客さまに寄り添い、安心・安全なエネルギー供給と、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを進めています。

## 社会課題解決に向けた取り組み

近年、エネルギー分野では「脱炭素化」「省エネ」「安全性向上」が重要なテーマとなっています。こうした課題に応えるため、以下のサービスを展開しています。

### 灯油配送の効率化

#### スマートオイルセンサー



- LPガスや灯油の残量をIoT技術で遠隔
- 監視突発的な供給切れを防ぎ、配送効率を改善
- 高齢者や過疎地域の暮らしを支える安心サービス
- 雪のなか残量確認をしなくて良いので、安全・安心

背景：灯油配送で「在庫切れによる緊急対応」が頻発していた

取り組み：センサーを設置し、IoTで残量を遠隔監視。LPWA通信で省電力・長距離対応、設置はわずか5秒で完了

効果：灯油残量をリアルタイムで把握し、配送タイミングを最適化  
無駄な配送を削減し、顧客満足度向上  
灯油切れゼロを実現し、緊急対応コストを削減

### 脱炭素経営

#### カーボンニュートラルサービス



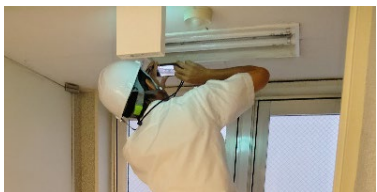
- CO<sub>2</sub>排出量削減に向けた燃料転換や再生可能エネルギー導入支援
- 地域企業と連携し、脱炭素社会への移行を加速
- 環境負荷低減と企業価値向上を両立

背景：企業が脱炭素経営を目指すなか、エネルギーコストと環境負荷の両立が課題  
取り組み：カーボンニュートラルLPガスや電力を導入。排出量をオフセットする仕組みを採用

効果：電力契約を見直し、電気代約20%削減  
CO<sub>2</sub>排出量を30%削減し、企業の環境価値を向上  
顧客や取引先へのPR効果も高く、SDGs対応を強化

### コスト削減と環境対応

#### 省エネ診断



- 工場や店舗のエネルギー使用状況を分析
- 最適な省エネ対策を提案し、コスト削減と環境配慮を実現
- 地域経済の持続可能性に貢献

背景：製氷工場で電力コストが経営を圧迫

取り組み：診断により、エネルギー効率の悪い部分を特定、最適な解決策を提案

効果：電力使用量を削減し、年間コストを大幅に圧縮  
カーボンニュートラルプラン採用で環境負荷低減  
経営効率化と環境対応を同時に達成

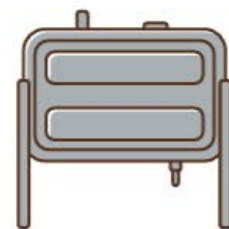
## 灯油の 配送

### 定期 配送

**配送条件:** 200ℓ型以上のホームタンク  
※道南店では定期配送期間を10月～5月としています。期間外の定期配送をご希望される場合はご相談ください。

### 注文 配送

配送ご希望の3営業日前までに、電話でご注文ください。1週間以上前であれば、ミライフ北海道Webサイトお問い合わせフォームからもご注文いただけます。



## 灯油機器の販売・設置、 修理や点検まで対応



## オンラインで毎月のご使用料金を確認

※会員サイトご登録後、お手続きに  
3～4営業日いただいております。



## 緊急駆けつけサービス

## 石油ファンヒーター 無料貸出サービス

## 点検サービス



### 灯油契約をご検討中の方

灯油に関するご連絡は  
こちらからWebで行えます。

灯油契約  
依頼フォーム



### お電話でのお問い合わせ

お近くの店舗までご連絡ください。〈受付時間〉平日9:00～17:00  
※夏季・冬季休業日を除く ※裏面下部の店舗一覧をご覧ください



## カーボンニュートラル ミライフでんき



CO<sub>2</sub>排出量を実質  
ゼロにするカーボン  
ソリューション事業を  
展開しております。



北海道小樽市 理研興業株式会社 様

## 中古不動産買取 再販売事業

「生涯ハウスクエア」をコンセプ  
トにお客さまに寄り添い、安  
心で快適な住まいを提供し  
ています。



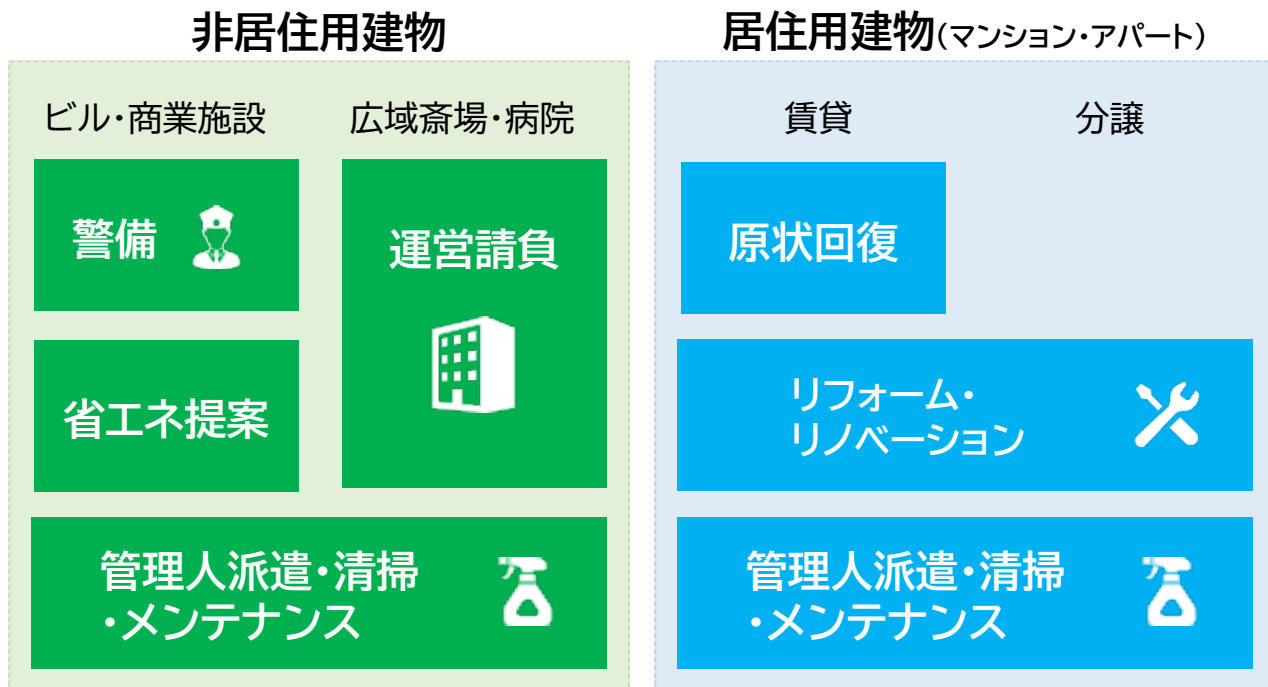
## 住まいの専門店 道南ハウスクエアショップ

地域のお声を聞きながら、  
住まいのお困りごとを相談  
できるショールームを目指し  
ています。

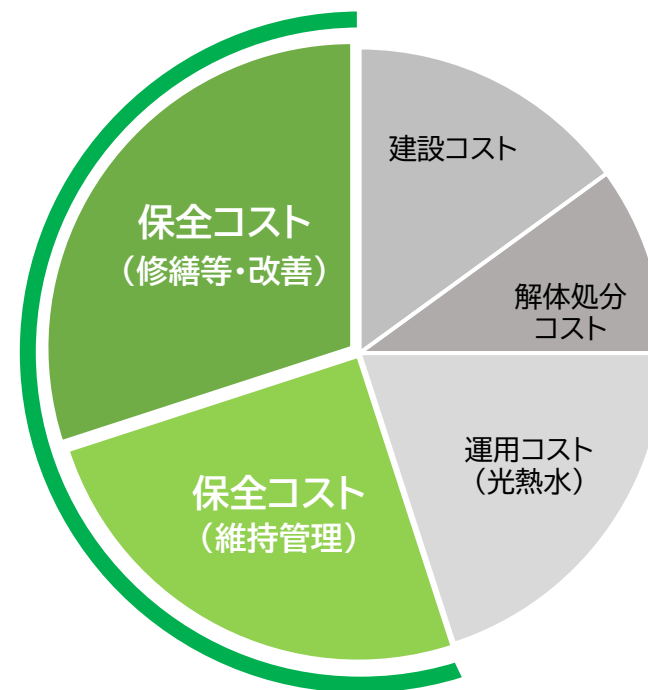


# メンテナンス領域 (総合建物メンテナンス)

# ビル・商業施設の管理・清掃、斎場・病院の運営請負、集合住宅のメンテナンス



建物ライフサイクルコスト※  
の大半が当社グループの事業領域



管理物件数約 **5,300** 件

※ライフサイクルコスト  
建築物の企画・設計から解体までの間に発生する費用の合計

出典:国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(一財)建築保全センター  
『平成31年版 建築物のライフサイクルコスト』より当社推計

# モビリティ領域・その他

モビリティ(自転車)	自転車小売店「ダイシャリン」を運営	東北・関東に <b>36</b> 店舗
	シェアサイクルの ステーション運営事業者として 自社サービス「ダイチャリ」を展開 	ステーション数 <b>2,800</b> 件超 自転車台数 <b>15,500</b> 台超
システム	LPガスの基幹業務システム・ 電力の顧客情報システムの開発・販売	顧客管理軒数 <b>900万</b> 超

※当社調べ

自転車小売店  
「ダイシャリン」



シェアサイクル  
ステーション



# 2026年3月期 第3四半期 決算概要

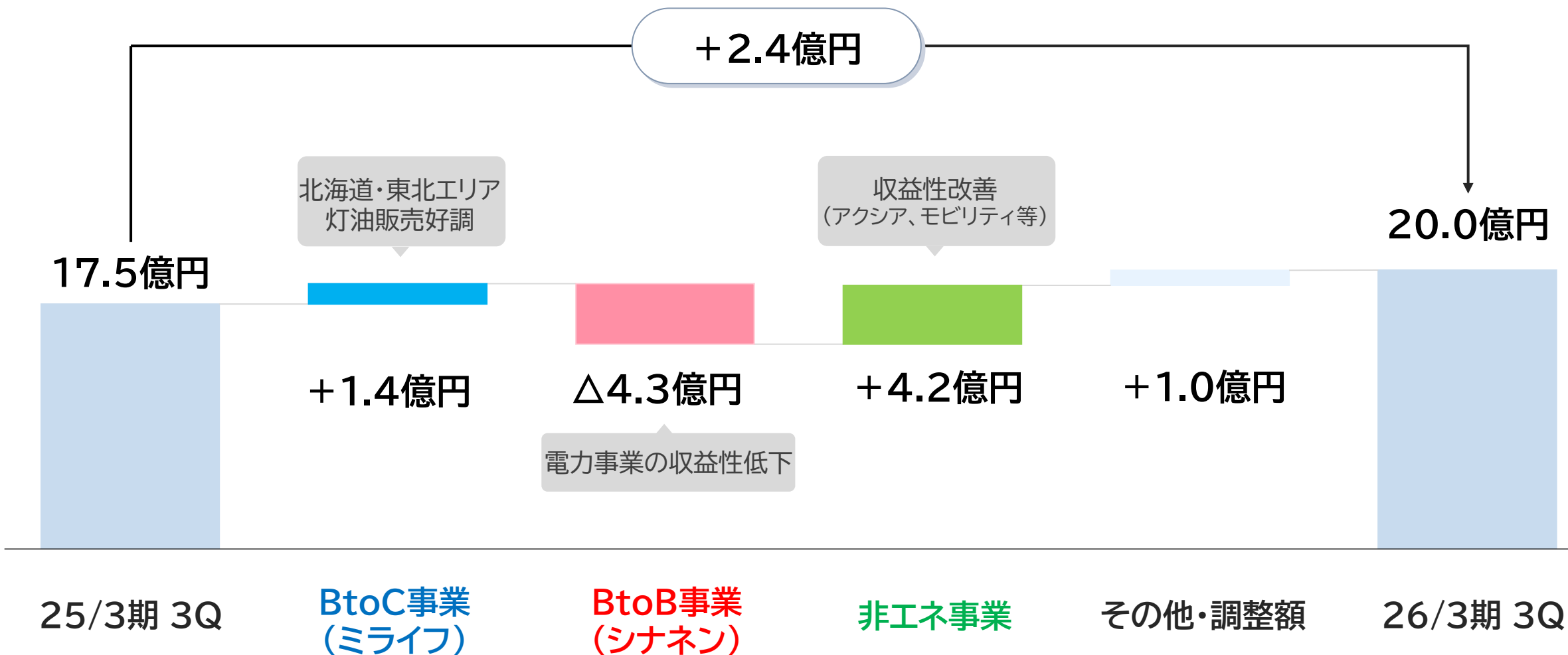
(単位:億円)	25/3期 3Q 実績	26/3期 3Q 実績	YoY (額)
売上高	2,106.7	2,036.9	△69.8
売上総利益	269.2	269.3	+0.1
販売費及び一般管理費	251.6	249.3	△2.3
営業利益	17.5	20.0	+2.4
営業外損益	5.3	5.5	+0.2
経常利益	22.9	25.6	+2.6
特別損益	△8.5	△7.5	+0.9
税引前利益	14.4	18.0	+3.6
親会社株主に帰属する 四半期純利益	10.9	9.7	△1.2

(単位:億円)	25/3期 3Q 実績	26/3期 3Q 実績	YoY (額)
<b>BtoC事業</b> (エネルギー卸・ 小売周辺事業)	486.9	470.4	△16.4
<b>BtoB事業</b> (エネルギー ソリューション事業)	1,462.8	1,399.2	△63.5
<b>非エネルギー 事業</b>	155.4	165.6	+10.2
その他・調整額	1.5	1.5	+0.0
<b>合計</b>	<b>2,106.7</b>	<b>2,036.9</b>	<b>△69.8</b>

LPガス仕入価格低下に伴う売上単価減が要因

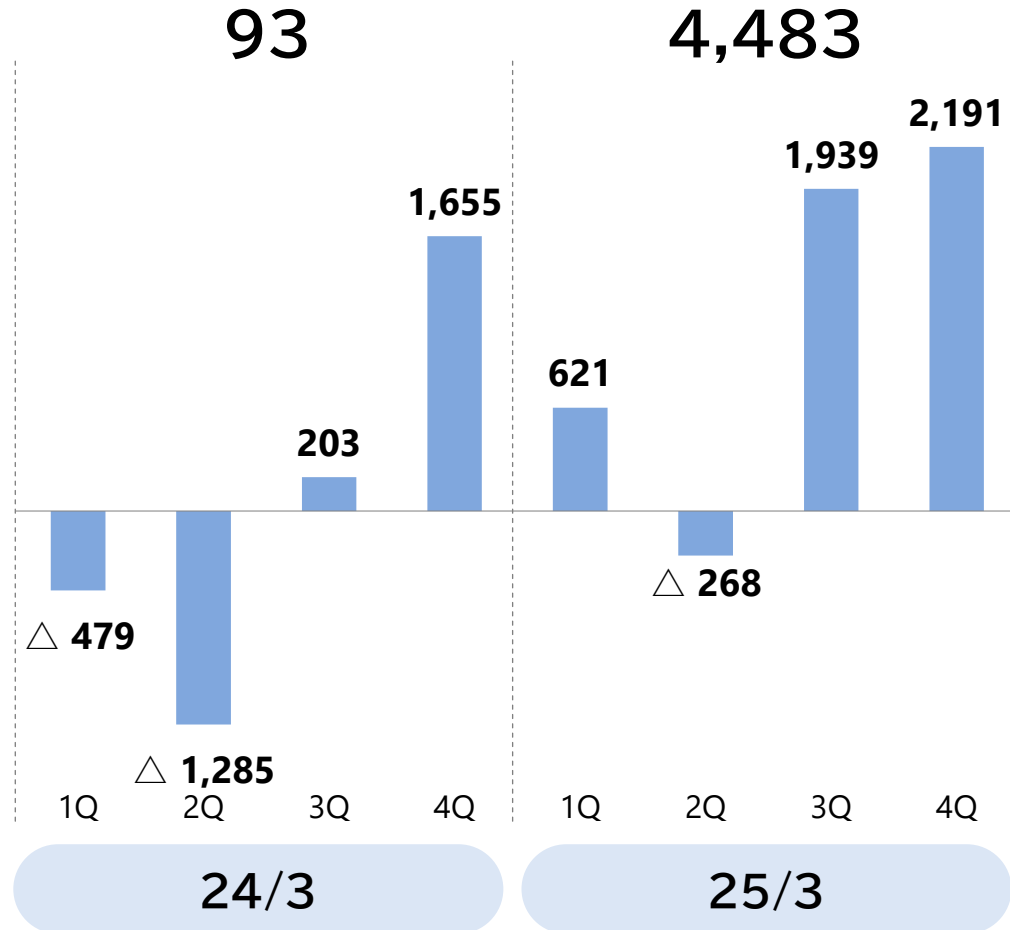
石油類について、軽油等は販売数量堅調の中、重油の需要減・原油価格低下が影響

引き続き総合建物メンテナンス事業、シェアサイクル事業が堅調に推移

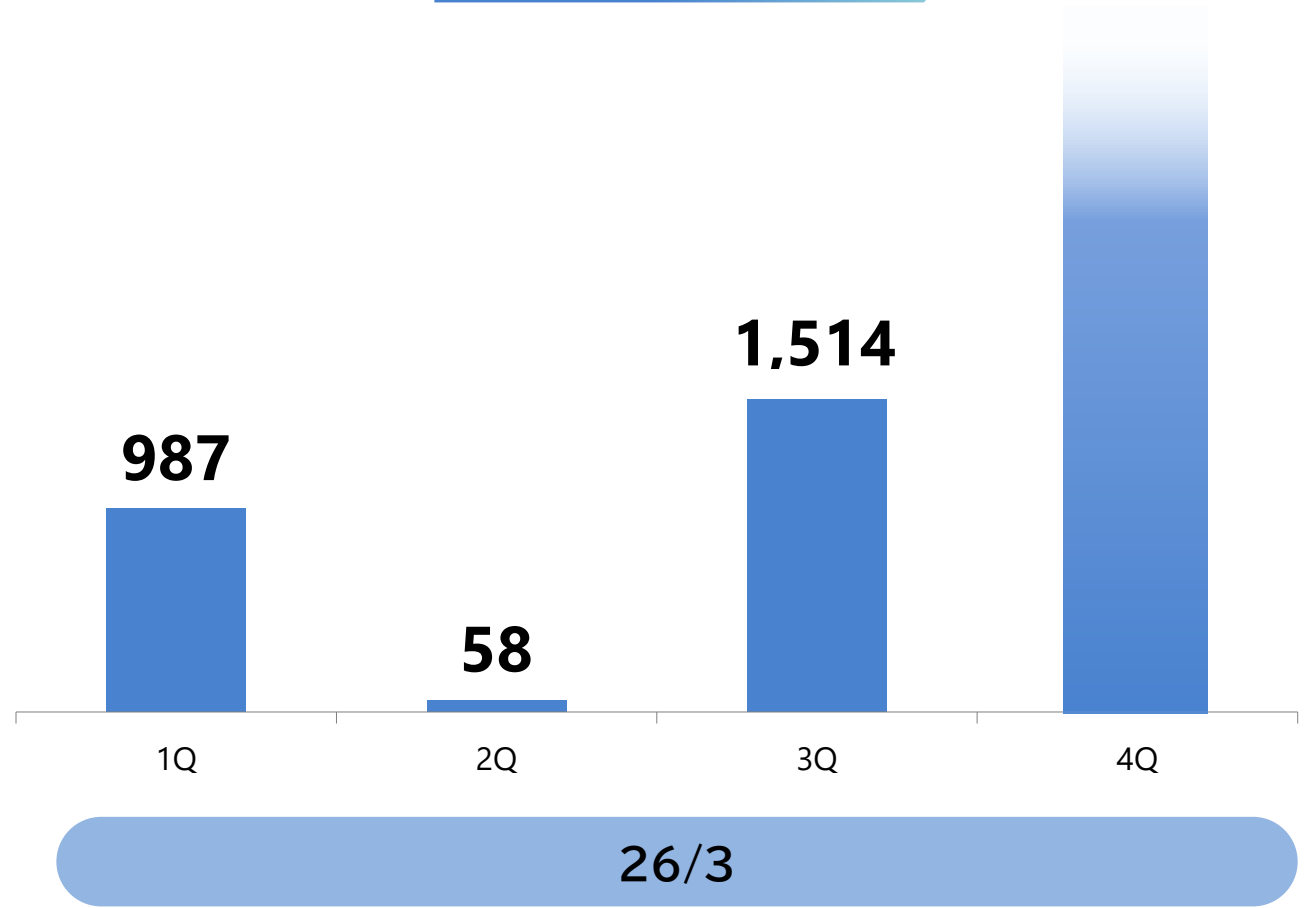


## 通期業績予想達成に向け、着実な積上げとなった

(単位:百万円) ※端数処理後の数値で算出



通期業績予想  
4,900(期初開示時)



04

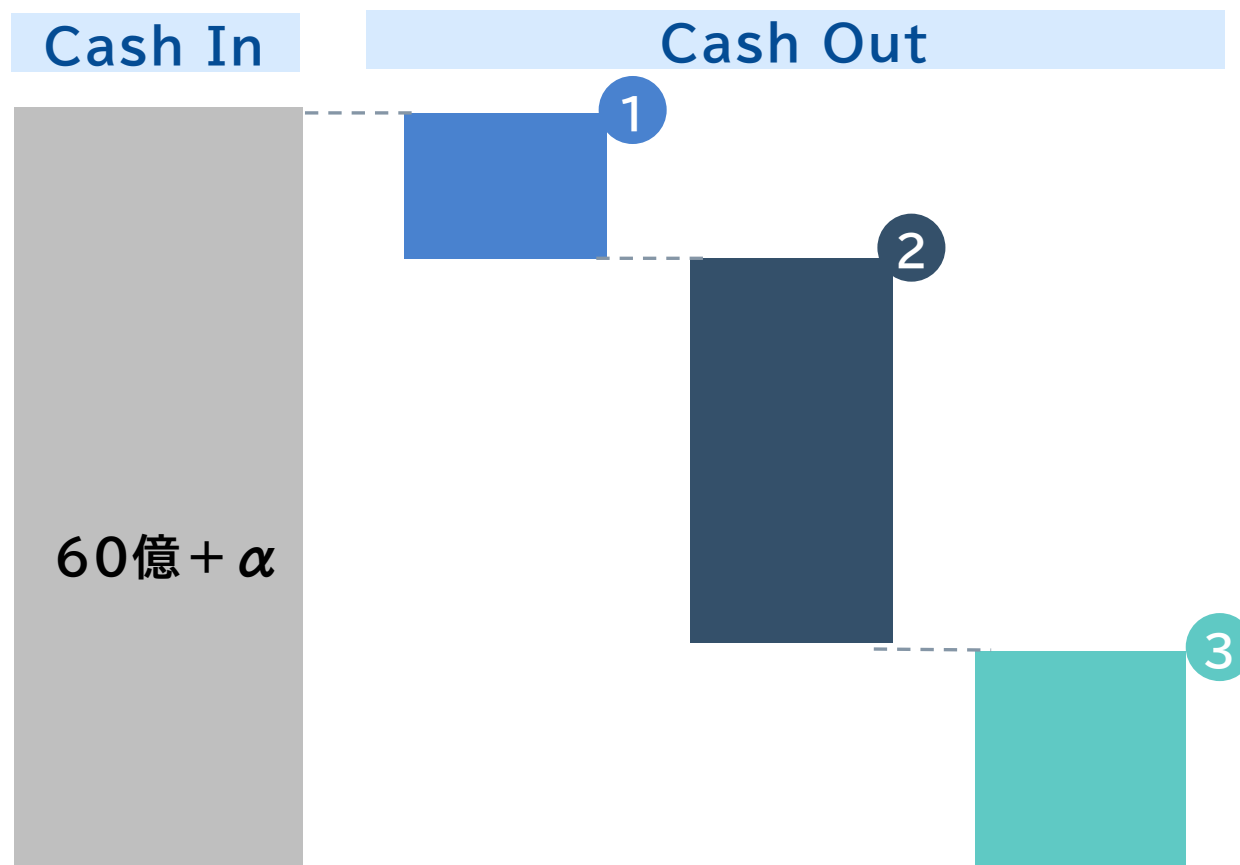
# 2026年3月期 通期業績予想

(単位:億円)	25/3 実績	26/3 予想	YoY (額)
売上高	3,171	3,673	+501
営業利益	40	44	+3
経常利益	44	49	+4
親会社株主に 帰属する 当期純利益	31	30	△1

### 利益面について

前期におけるスポット取引の減少はあるものの、主力のLPガス・石油事業の強化及び、非エネルギー事業において収益規模・収益力の拡大を見込む

## 収益力向上とポートフォリオ更新により、キャッシュ創出力を拡大中



1 還元

2 投資関連

- ・ 商圏買収
- ・ 更新投資(設備)
- ・ システム開発(受発注)
- ・ 電力関連投資

3 その他

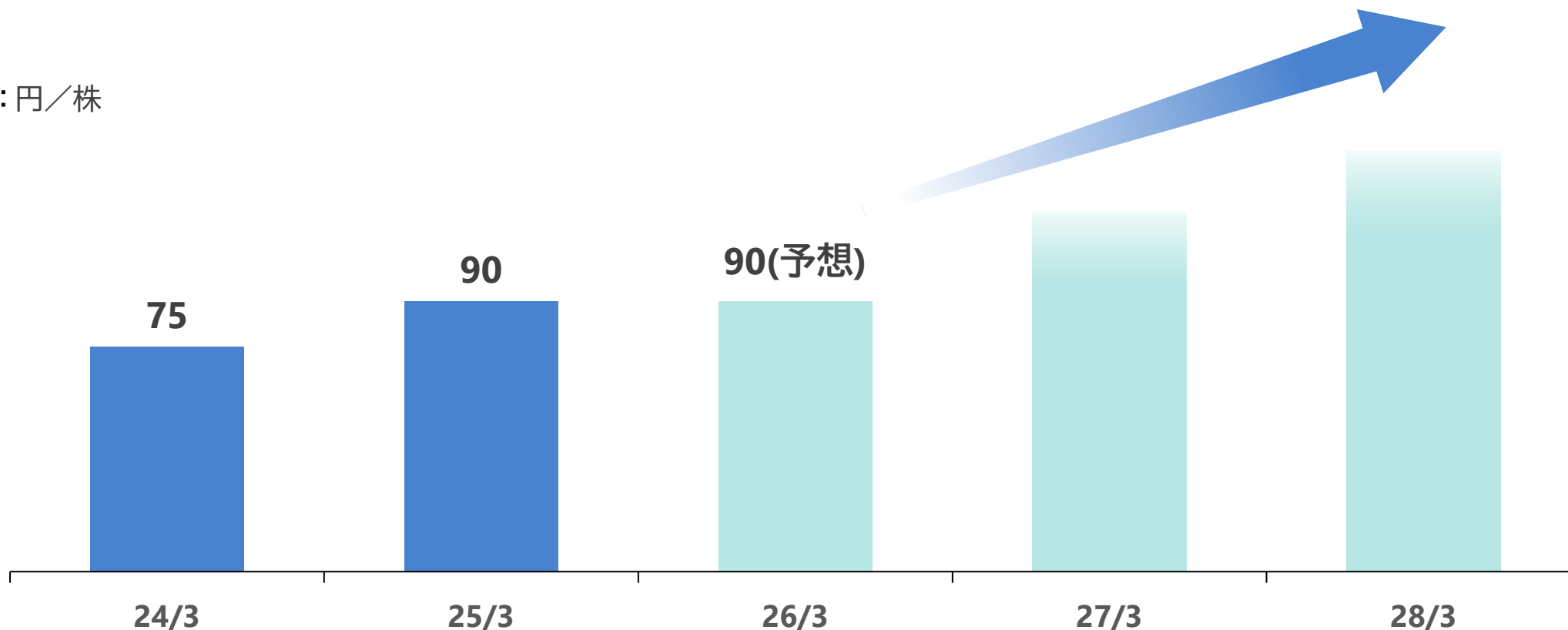
- ・ 戦略投資
- ・ 還元施策等

05

株主還元

基礎収益力の向上、健全な財務基盤維持、持続的成長に向けた投資資金確保などを鑑みつつ、安定配当と機動的な自社株買いの組み合わせにより総還元性向40%の実現を目指していく

単位：円／株



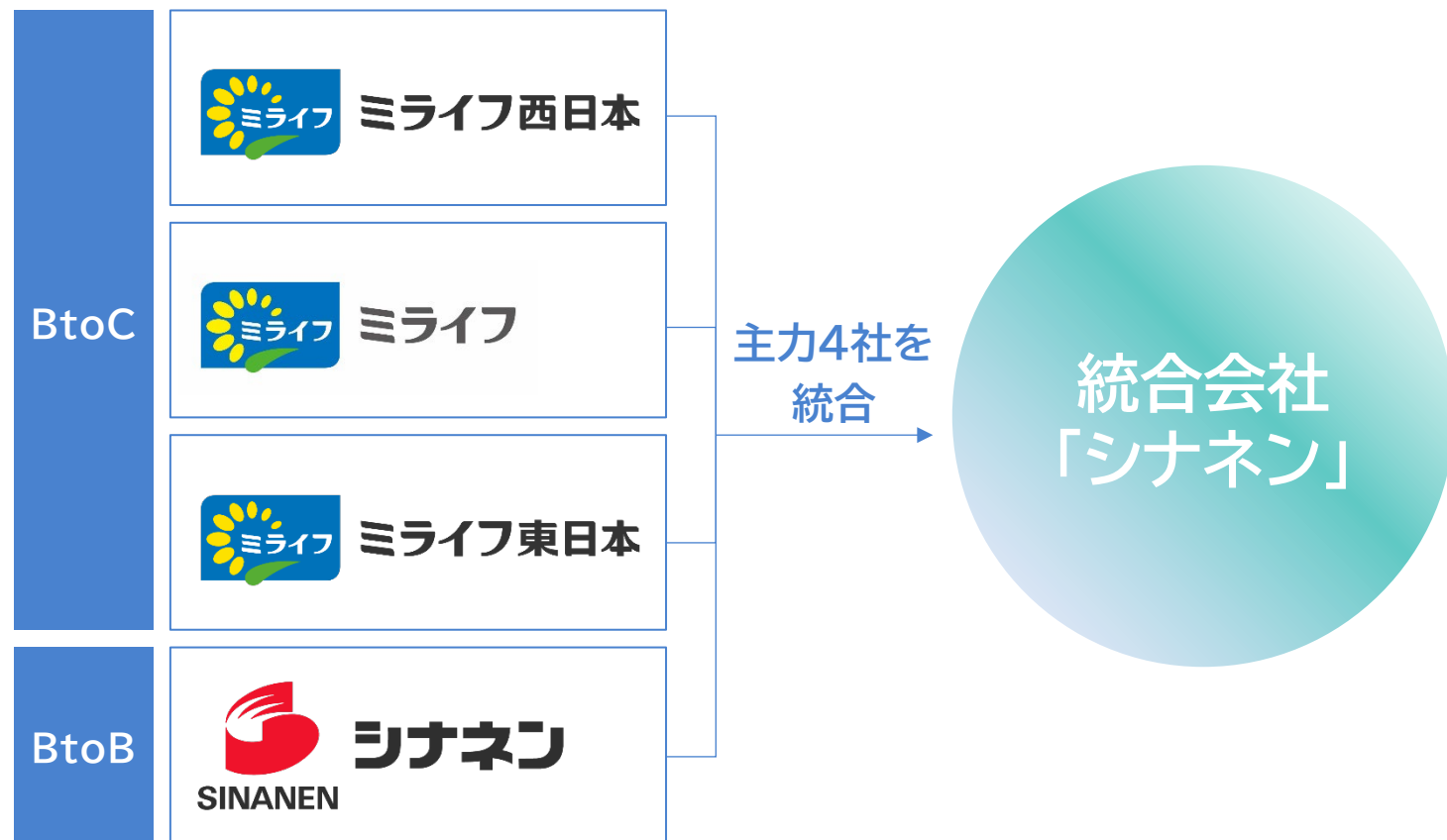
06

## 今後の方針

## 2026年4月1日付で主力4社を統合し、新会社を設立

～2026年3月期

2027年3月期～



### 統合のねらい

- 主力事業の統合により、経営資源を集中し、効率的な運営体制を構築。
- 地域ごとの事業を再編し、サービスの質と対応力を向上。
- 統合によるスケールメリットを活かし、顧客ニーズに応える新サービスを展開。

## 第三次中期経営計画 成長戦略 - 「リテールサービス戦略の強化」 1/4

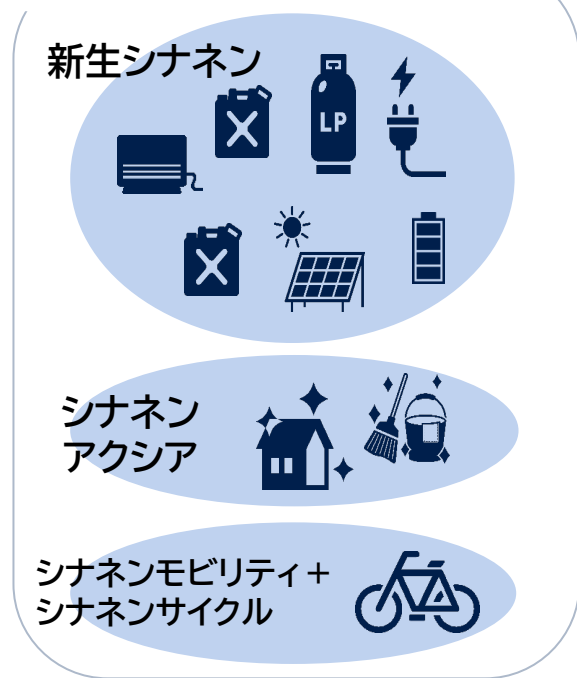
これまでの「ガス事業者」、「石油事業者」、「エネルギー商社」といった単体の事業、個別の会社ではなく、地域拠点がある街全体を対象として、グループのさまざまなサービスを提供する企業体への進化を目指す。そのために、以下の4つを重点項目とし、「稼ぐ力」を強化します。

1	サービス拡充	<ul style="list-style-type: none"><li>▶ 全ての拠点で総合エネルギー(石油・ガス・電力)だけでなく、住宅のメンテナンスや省エネ提案などグループ内商材を結集した住まいのサービスを提供する</li><li>▶ GXをはじめとした街に貢献する新規サービスの開発も継続的に実施する</li></ul>
2	顧客拡大	<ul style="list-style-type: none"><li>▶ 街を構成する個人(住宅)、地元・地場法人(ビル・施設)、自治体、その他コミュニティ(団体・組合)を顧客とし、クロスセルや新規獲得を行う</li></ul>
3	ブランド強化	<ul style="list-style-type: none"><li>▶ 拠点を中心に、地域に密着し知名度を向上、当社グループのサービス内容と、サービス品質の高さを広く認知してもらう</li></ul>
4	競争力強化	<ul style="list-style-type: none"><li>▶ 競争力のあるサービス提供企業となるため、サービス品質を向上し、また新しいことを実施する余力を作るために社内業務の効率化を行なう</li></ul>

## 第三次中期経営計画 成長戦略 - 「リテールサービス戦略の強化」 2/4

グループ各社がそれぞれ提供していたサービスメニューを結集し、拠点を通じて街全体へ提供  
顧客ニーズに応えるサービスを提案し、地域密着で推進していきます

### 当社グループ



### 拠点



### 街



第三次中期経営計画 成長戦略 - 「リテールサービス戦略の強化」 3/4

宅配水事業へ参入します

当社グループは、エネルギーにとどまらず地域の暮らしを支えるサービス拡充に取り組んでいます  
 この度、プレミアムウォーター社との業務提携により、継続的な価値提供と安定的な収益基盤の構築につながる  
 宅配水サービスの提供を開始します



## 第三次中期経営計画 成長戦略 - 「リテールサービス戦略の強化」 4/4

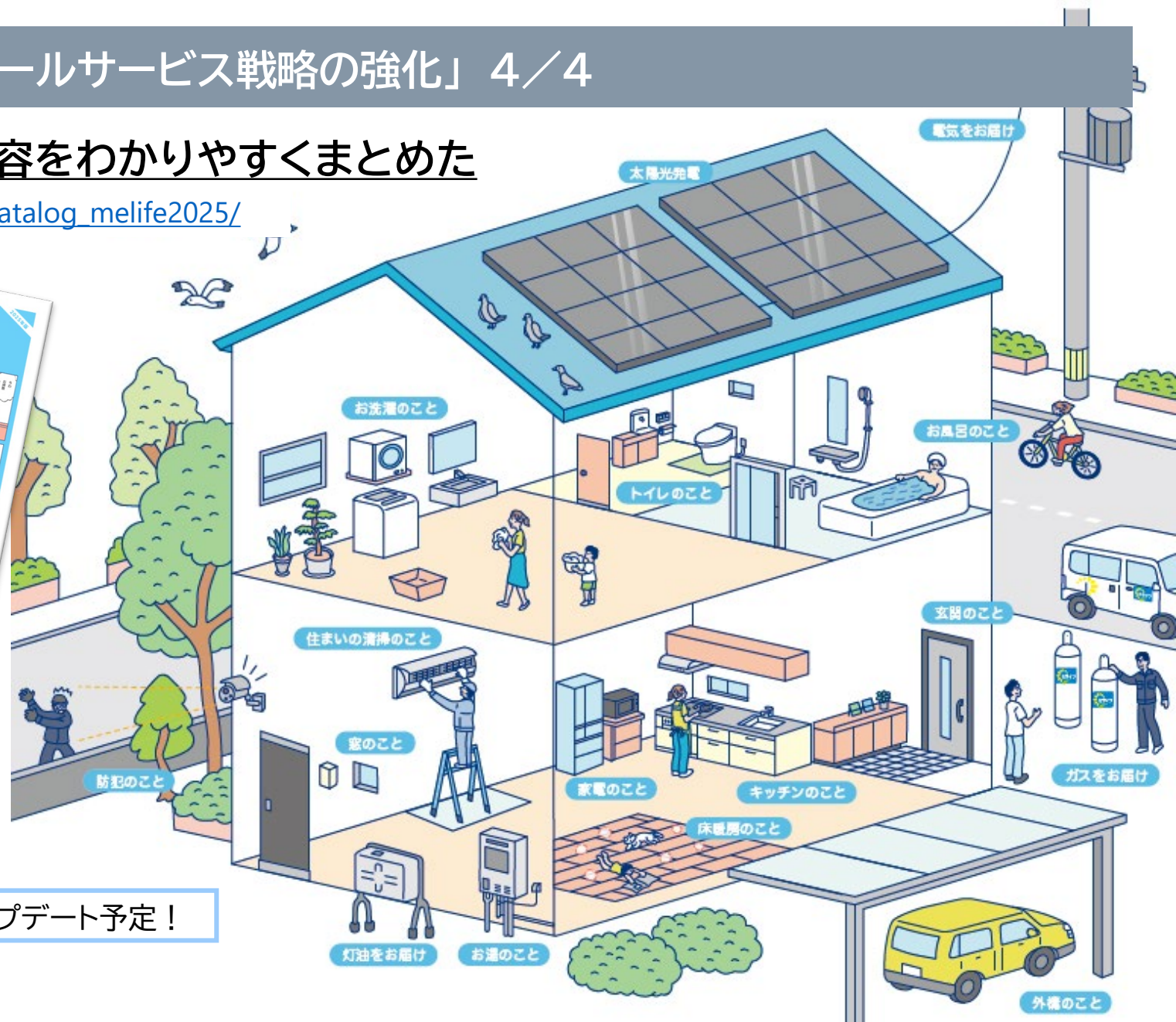
### 当社グループで提供できるサービス内容をわかりやすくまとめた カタログを展開 [https://my.ebook5.net/melife/catalog\\_melife2025/](https://my.ebook5.net/melife/catalog_melife2025/)

住まいの清掃やメンテのこと  
ハウスクリーニング  
ハウスマンテナンス(小工事)

リフォームや機器のこと  
住まいを見直すタイミング  
キッチン・バスルーム・トイレ  
洗面化粧室・洗濯室  
給湯器・冷暖房  
断熱リフォーム・外装リフォーム

エネルギーのこと  
エネルギーサービス(ガス・電気・灯油)  
カーボンニュートラルエネルギー  
省エネ・創エネ・蓄エネ

住まいのサポートのこと



2026年4月には統合新会社バージョンのカタログにアップデート予定！

# 07 Appendix

## 07 連結貸借対照表(要約)

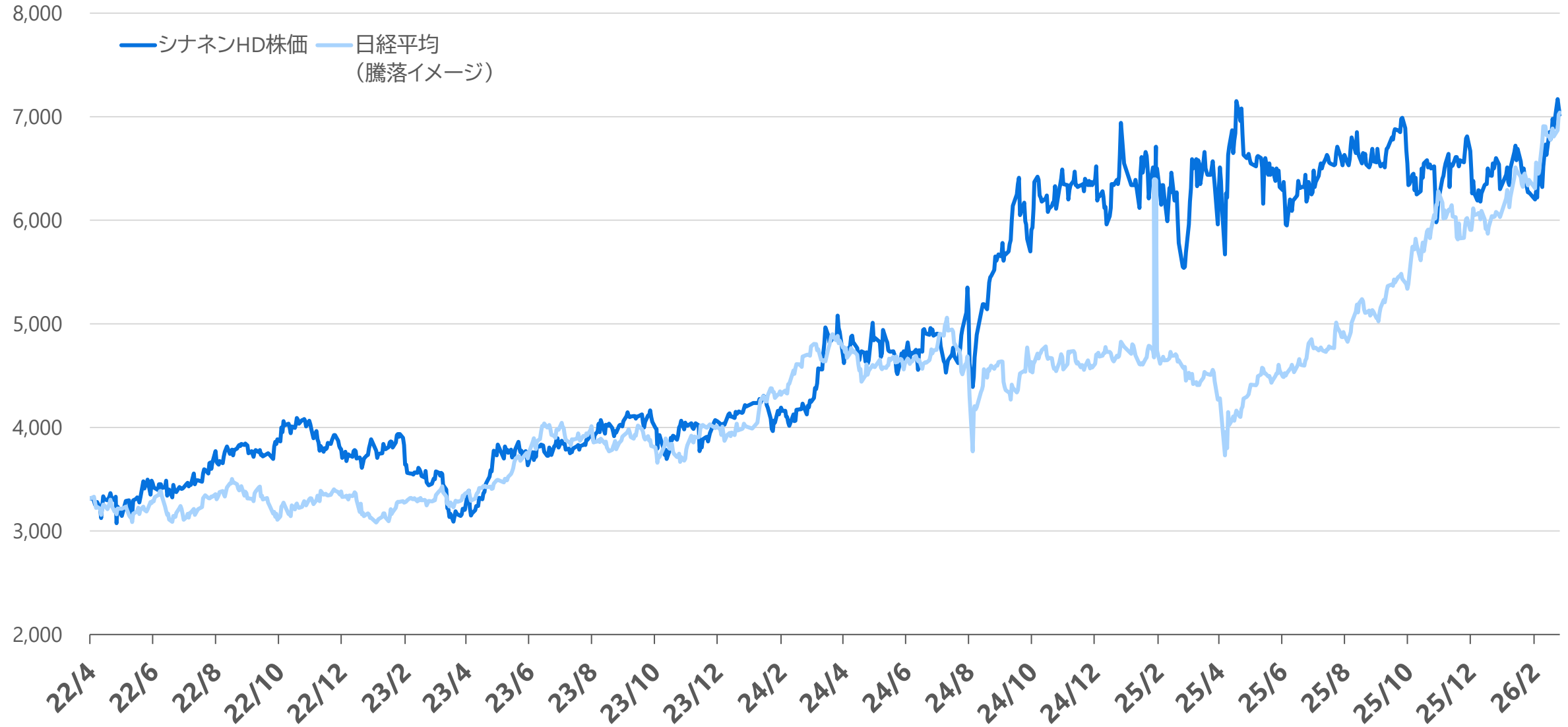
(単位:百万円)

科目	2025/3	2025/12	増減
<b>流動資産</b>	<b>62,862</b>	<b>66,303</b>	<b>+3,441</b>
現金及び預金	11,919	16,717	+4,798
受取手形、売掛金及び 契約資産	39,646	39,580	△65
商品及び製品	6,884	5,283	△1,601
仕掛品	429	421	△7
原材料及び貯蔵品	24	27	+2
その他	4,003	4,318	+314
貸倒引当金	△45	△44	+0
<b>固定資産</b>	<b>43,072</b>	<b>44,037</b>	<b>+964</b>
有形固定資産	27,885	27,204	△680
無形固定資産	2,183	2,061	△122
投資その他の資産	13,003	14,771	+1,767
<b>資産合計</b>	<b>105,934</b>	<b>110,340</b>	<b>+4,406</b>

科目	2025/3	2025/12	増減
<b>負債</b>	<b>50,704</b>	<b>53,898</b>	<b>+3,194</b>
流動負債	43,248	46,300	+3,051
固定負債	7,455	7,598	+143
<b>純資産</b>	<b>55,230</b>	<b>56,441</b>	<b>+1,211</b>
株主資本	52,450	52,497	+46
資本金	15,630	15,630	-
資本剰余金	7,711	7,732	+20
利益剰余金	31,821	29,555	△2,266
自己株式	△2,712	△420	+2,292
その他の包括利益累計額	2,759	3,927	+1,167
非支配株主持分	20	17	△2
<b>負債純資産合計</b>	<b>105,934</b>	<b>110,340</b>	<b>+4,406</b>

(単位:百万円)	25/3期 3Q		26/3期 3Q		増減額
	売上高比		売上高比		
売上高	210,679	100.0	203,698	100.0	△6,981
売上原価	183,750	87.2	176,759	86.8	△6,991
売上総利益	26,929	12.8	26,939	13.2	+10
販売費及び一般管理費	25,169	11.9	24,935	12.2	△233
営業利益	1,759	0.8	2,003	1.0	+244
営業外収益	772	0.4	803	0.4	+30
営業外費用	240	0.1	246	0.1	+6
経常利益	2,292	1.1	2,560	1.3	+268
特別利益	12	0.0	334	0.2	+321
特別損失	863	0.4	1,088	0.5	+225
税引前利益	1,441	0.7	1,805	0.9	+364
法人税等	343	0.2	837	0.4	+493
非支配株主に帰属する四半期純損失	0	0.0	△2	△0.0	△3
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,096	0.5	971	0.5	△125

## 直近の株価は高値圏で推移





「シナネンあかりの森プロジェクト」は、環境に優しいエネルギーの普及と生態系保護を通じて豊かな自然環境を残すとともに、脱炭素社会の実現に貢献するための活動をしています。11月16日、神奈川県藤沢市にある新江ノ島水族館(通称:えのすい)が主催する「えのすいecoデー」に参加し、えのすいの目の前にある片瀬海岸にてビーチクリーン活動を行いました。「シナネンあかりの森プロジェクト」は、新江ノ島水族館が取り組む絶滅危惧種であるコツメカワウソの種の保存と繁殖を支援しており、今回は「えのすいeco」\*の取り組みに共感し、海岸清掃へ参加しました。今後も新江ノ島水族館と連携し、カワウソの生態系保護や海の自然保護活動へ取り組んでまいります。

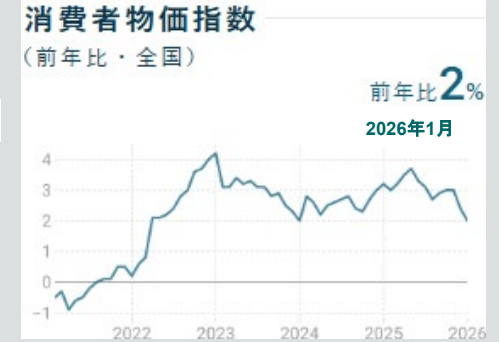
\* えのすいeco:生物の生態に関する学び(エコロジー)と、環境を守る行動(エコアクション)を融合させた取り組み



・東京都と「グリーン水素等の国際サプライチェーン構築に向けた共同検討に関する協定書」を締結しました。東京都は、都内における水素エネルギーの需要拡大と早期社会実装化を目指しており、ミライフが共同検討の事業者として採択されました。本協定に基づき共同検討を進め、都内における水素のグリーン水素等のサプライチェーン構築を目指してまいります。

・狭山市が推進する「狭山市まち・ひと・しごと創生推進計画」に賛同し、防災対策強化を目的に企業版ふるさと納税を通じて100万円を寄付しました。寄付金はミライフが参画する「給湯器リサイクル事業」を通じて得られたもので、狭山市が進める「自走式水洗トイレカー」の導入費用の一部に充てられます。今後も、エネルギー事業を基盤に災害に強い地域づくりを推進し、環境保全や福祉支援とともに安心な暮らしを支える活動を積極的に進めてまいります。

日本指標



米国指標



為替



コモディティ



リスク



## レビュー

2025年

## ・マクロ環境

2025年のマクロ環境は、年初のトランプ関税ショック、ウクライナ & 中東での地政学リスク、インフレ圧力等、ボラティリティ要因が各地に遍在したものの、本邦含め各国での対米相互関税対応やAI関連の成長期待、堅調な雇用環境など背景に、大崩れなく底堅く推移。

## ・金融市場

堅調な企業業績や、欧米を中心にした中央銀行の緩和的な金融政策に下支えされる形で、株やコモディティ等のリスク性資産中心に年後半にかけて大きく値を伸ばす展開に。

中でも株式市場については、年前半はトランプ関税による企業収益環境の悪化が懸念されたが、インフレや、“金利のある世界への回帰”に伴い、資源エネルギー、資本財、金融セクターの業績改善が進んだ他、AIの進捗によるハイテクセクターの続伸等を好感する形で、年後半に大きく値を切り上げる展開となった。日経平均は初の5万円台で越年。

## アウトルック

2026年

## ・マクロ環境

2026年も、本邦国政や米中間含めた内外の政治イベントの他、ウクライナに加えて中米での地政学リスク、ドンロー主義の拡大等、引き続き不確実性要因が遍在。他方で、世界的なインフレ基調が続く中、資源エネルギーや金融セクターが恩恵を受ける他、急速な成長を遂げているAIロボテックセクターの続伸等も背景に、企業業績は概ね好調に推移が見込まれ、雇用環境も目立った軟化は見込み難く、引き続き欧米中心の金融緩和姿勢も景気の下支え役となり、マクロ環境は今年も底堅い推移を見込む。

## ・金融政策

金融政策については、米中心に政治的圧力から引き続き緩和バイアスが見込まれる一方、本邦金融政策については、漸く“金利のある世界”が戻りつつあるが、インフレ高進を背景に実質金利が依然マイナス水準にとどまっている中、日銀は未だ暫くは中立水準を探る動き(利上げ)を続けよう。

## ・為替(ドル円)

金融政策の動向(円買い)と本邦の財政拡張(円売り)との綱引き展開が見込まれ、一方向には進み難く、レンジでの値幅の大きい上下動が続く。

## ・株式市場

地政学有事や、米政策等、不確実性要因は依然遍在しており突発的なボラティリティが生じやすい地合いが続く。尤も、企業業績への期待感、高市政権の政策期待(高市トレード)の他、リフレ政策を踏まえての更なるインフレ高進を見込んでのリスク性資産へのインフレヘッジ投資も増加しつつある中、株式の他、商品、不動産等のリスク性資産は需要が膨らみやすい展開が見込まれる。

- 本資料にはシナネンホールディングス(株)(以下、当社)の計画、方針、経営戦略などといった、将来に関する記述があります。これらの記述は、当社が現在入手している情報に基づく予測、計画等を基礎として作成しているものであり、不確定要素を多く含んでいます。従いまして、様々なリスクや変動要因により、実際には本資料の記述と大きく異なる結果となる可能性があります。
- 実際に投資を行う際には、本資料の情報のみによる投資判断はお控えいただき、投資に関する判断は皆様ご自身で行うようお願い致します。投資に関して生じたいかなる損失に対し当社が責任を負うものではありません。

## 本資料に関するお問い合わせ

シナネンホールディングス(株)

財務IR部 IR・SRチーム

✉ [ir@sinanengroup.co.jp](mailto:ir@sinanengroup.co.jp)

## 統合報告書2025を発行しました

詳細はこちらからご覧いただけます

<https://sinanengroup.co.jp/ir/library/annual/>

